

附属学校園からのお知らせ

附属小学校便り

本校の教育目標は『自主協同』

このたびは初めての本誌掲載なので、附属小学校の紹介から始めます。幼稚園と小学校の敷地境近くに建っている『自主協同』の碑は、本校の教育目標を表しています。具体的なめあては、「自分で考えて正しく判断し、進んで行動する子」「自然と人間を大切にし、情操の豊かな子」「健康で気力体力が充実し、意志の強い子」を育成することです。この『自主協同』をめざして734名の児童（平成23年5月現在）、31名の教員ほか講師や職員23名、知力・体力を合わせて学習や教育活動に取り組んでいます。

授業とカリキュラムの実践研究校

1977年に文部省（当時）から「低学年における合科的総合的方法に関する研究」の委嘱を受けて以来（これは生活科の先導的な研究となった）、30年以上にわたり、研究開発学校としてほぼ継続的に8つの新しい課題（難題）に取り組んできました。

近年では、附属の立地を生かし幼・

小・中連携で「協働して学びを生み出す」（2005～2007）、「小学校における『公共性』を育むシティズンシップ教育」（2008～2010）を探究し、新しい授業とカリキュラムを教員みんなで話しあいながら創ってきました。

本校の教科名は、研究テーマ「関わりあって学ぶ力を育成する」（2001～2003）の頃から「ことば」「市民」「自然」「アート」「生活文化」「からだ」などのように呼びならわし、子どもたちの生活や関心に沿って互恵的な意味ある学びを展開するように、教員それぞれ日々の授業の工夫を続けています。

担任の仕組み

1953年（昭和28年度）以来、「協力学年担任方式」を実施してきました。これは普通の学級担任方式とは違って、同学年3～4学級を3～5名の教科分野の異なる教員が協力して学年学級の運営並びに学習指導を行うやり方です。

子どもにとっては毎年、多様な価値観や専門性にふれることができ、教員にとっても他者と協働すること、チームで問題解決することができる優れたシステムです。



運動会のダンス伝統の“のぎく”

研修・研究の場

大学の附属研究学校として年間を通し、他校の先生方が参観に見えたり、国内外の大学の研究・研修の場となったりします。教職をめざす教育実習生やインターンシップの学生の受け入れはもとより、本校教員が他校の研究会へ講師として派遣されることもあります。また、全国から約2000名の教育研究者が集まる例年2月の「教育実際指導研究会」は今年で第75回目となります。

なお、かがみ会（在校生保護者と教職員）や茗鏡会（卒業生の会）、教育後援会など学校運営をサポートする組織も堅実で、例えば3年前からは「みんなでつくる」を合い言葉に



新入生を迎える会“入場の花のアーチ”



アメリカからの参観“給食交流”

附属学校園での出来事 (2011年4月～5月)

【いずみナーサリー】

4月

- ・避難訓練 (図上訓練)
- ・保護者会

5月

- ・ボランティア学生による「スライムで遊ぼう」
- ・院生による「食育」パネルシアター
- ・保育参観
- ・避難訓練
- ・ナーサリー室内開放

【附属幼稚園】

4月

- ・始業式
- ・入園式
- ・防災訓練
- ・保護者全体会
- ・5歳児園外保育
- ・PTA 総会
- ・4歳児親子で遊ぶ日
- ・誕生会
- ・五月人形学内向け公開
- ・子どもの日の集い

5月

- ・健康診断
- ・親子遠足
- ・誕生会
- ・防災訓練

【附属小学校】

4月

- ・第1学期始業式
- ・入学式
- ・委員会活動 (5・6年) 開始
- ・新入生を迎える会
- ・授業研究会
- ・避難訓練
- ・授業参観
- ・保護者総会
- ・かがみ会総会
- ・教育後援会総会

5月

- ・委員会活動 (5・6年)
- ・郊外園活動 (4・5年さつまいも植え)
- ・学校参観
南ユタ大学教授<栄養学>と学生
- ・教育実習開始
- ・授業研究会
- ・運動会

【附属中学校】

4月

- ・入学式
- ・始業式
- ・3年学力テスト
- ・生徒会委員等任命式
- ・PTA 委員全体会
- ・生徒歓迎会
- ・2年郊外学習
- ・避難訓練

5月

- ・生徒総会
- ・鏡水会総会
- ・PTA 総会
- ・2年郊外園

【附属高等学校】

4月

- ・入学式
- ・始業式
- ・対面式
- ・新入生オリエンテーション
- ・3年修学旅行
- ・自治会選挙、歓迎会
- ・PTA総会
- ・教育後援会総会
- ・各学年保護者会
- ・春季健康診断

5月

- ・3年学力テスト
- ・3年校外学習
- ・1年学年合宿
- ・2年遠足
- ・1年農場 (さつまいも植え)
- ・体育祭



(4・5・6年女児)



補植用の芝の苗づくり

保護者・児童・教員ともども校庭の芝生化に取り組んでいます。

開校133周年の「古い確かさ」と「先進の新しさ」は本校の伝統カラーと言えるでしょう。